

# うぶすな

～ふるさとを見る・知る・探す!～



うぶすなとは「生まれた土地（故郷）」という意味の言葉です。井上通泰と柳田國男が幼いころを過ごした鈴ノ森神社のヤマモモの木を詠んだ歌も、この言葉からはじまっています。

第9号

### 柳田國男年譜のこと

柳田國男・松岡家記念館顧問  
東京学芸大学教授 石井 正己

新しい『柳田國男全集』（筑摩書房）は、一九九七年から刊行が始まりました。初版本や初出の雑誌・新聞に遡って、テキストの生成を組み込む全集の構築を図りましたが、予想以上の時間を費やしましたが、やっと着地点が見えてきました。

昨年春、別巻として小田富英の「年譜」が刊行されました。帯には、「従来の「年譜」をはるかに超える七五〇〇日を記録。細部にわたる記述で「等身大の柳田國男」が見えてくる画期的年譜」とあります。九七一年の『定本柳田國男集』（筑摩書房）に入った年譜は、日記を使ってまとめられました。さらに、一九八八年の柳田國男研究会編著『柳田國男伝』（二書房）の年譜は、周辺資料を収集して作られました。

今度の労作で、年譜は新たな段階に入ったと言っているように、例えば、七歳には、「文殊祭の鬼追い行事に参加し興奮する」、「嘘を隠すために次々と嘘をつかなくてはならなくなって困った」と見えます。こうした記述に出会え、読んでも楽しい年譜になっています。

### 記念館 オリジナルグッズ

記念館では、松岡五兄弟のかわいいうぶすなオリジナルグッズを販売しています。在庫の少なくなってきた商品もありますので、お買い逃がしのないようお求めください。

**発売中!!**

- クリアファイル 100円
- メモ帳 300円
- トートバッグ(白) 500円
- 付箋 500円
- 一筆箋 400円
- レターセット 500円



(兵庫県指定重要有形文化財) 旧神崎郡役所  
墨崎町立  
**神崎郡歴史民俗資料館**  
Kanzaki County Museum of History and Folklore established by Fukusaki Town



## 平成31年/令和元年度の催し報告

### 春季企画展

#### “平成時代”とふくさき

本年度は5月に平成から令和へと改元が行われ、新たな時代が始まりました。資料館ではこの節目に、平成時代の福崎町での出来事や当時の様子をふりかえる企画展を開催しました。図書館やエルデホールの開館、祭り屋台大集合、妖怪の出現など、福崎町の“平成時代”を振り返り、皆さんで平成の思い出話に花を咲かせていただける展示となりました。



◀ 4月30日に「平成最後の日」、5月1日に「令和最初の日」来館記念カードを配布しました。

来館者の皆さんに平成の思い出を自由に書いて貼っていただき、思い出の花畑ができました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



### 秋季企画展

#### 発掘調査からみるむかしの福崎 ～平成30年間の調査成果から～



教育委員会では、地下に眠る遺跡が建物や道路を新しく作ることで影響を受けてしまう前に、そのようすを発掘して記録・保存しています。秋季企画展では、「今、わたしたちの足の下にある遺跡」に思いを馳せながら、むかしの人々のくらしを見つめる機会となることを願い、平成の30年間に行われた主な発掘調査の成果を紹介しました。

### 秋季企画展 パンフレット販売中!

秋季企画展の展示作品の解説を収録したパンフレットを作成しました。歴史民俗資料館でお買い求めいただけます。

A4サイズ  
6ページ  
1冊 100円

### うぶすな 第9号

令和2年3月15日発行

福崎町立柳田國男・松岡家記念館  
〒679-2204  
兵庫県神崎郡福崎町西田原  
1038-12  
TEL 0799-22-1000

◆ 休館日  
月曜日（祝日は開館）  
祝日の翌日（10・11月は開館）  
12月28日～1月1日

◆ 開館  
午前9時～午後4時30分  
（入館は午後1時まで）

### 令和2年度の催し

記念館の催し

- ★ 令和2年度 春季松岡映丘画稿展
- ★ 第41回山桃忌
- ★ 第7回柳田國男検定
- 初級編 / 中級編 / 上級編
- ★ 令和2年度 秋季松岡映丘画稿展
- ★ 第8回福崎町柳田國男ふるさと賞
- ★ 伊勢大神楽
- ★ 岩田健三郎さんの版画教室

歴史の催し

- ★ 令和2年度 第一回企画展
- ★ 令和2年度 連続講座
- ★ 令和2年度 第二回企画展



福崎町立

(兵庫県指定文化財)

# 柳田國男・松岡家記念館 / 柳田國男生家

Kunio Yanagita and the Matsuoka Family Memorial Museum established by Fukusaki Town



## 平成31年 / 令和元年度の催し報告

### 第40回山桃忌

山桃忌は、柳田國男とその兄である井上通泰の祥月にあたる8月に、2人の偉業を偲んで開催している行事です。

8月3日(土)と8月4日(日)、第40回山桃忌をエルテホールで開催しました。

1日目の第1部では琴伝流大正琴七種会&もちの木会による「大正琴演奏」のオープニング、「柳田國男・井上通泰と文学」をテーマに、当館顧問である石井正己先生による講演や、奈良教育大学名誉教授真鍋昌弘先生による記念講演、横浜国立大学教授の一柳廣孝先生、柳田國男の孫で民俗学修士の南八枝子先生、神河中学校主幹教諭の鎌田雅弘先生をパネリストとしたシンポジウムを行いました。

2日目の第2部では石井先生による解説とともに、南加茂貫船神楽社中、山王寺和野神楽社中による「出雲神楽」上演を行いました。

来年度の山桃忌は8月8日(土)、9日(日)に開催する予定です。さまざまな催しを計画していますので、楽しみにお待ちください。



シンポジウムの様子



シンポジウムの様子



出雲神楽上演



大正琴演奏



出雲神楽上演

### 第6回柳田國男検定

柳田國男検定は、柳田國男への理解を深めることを目的とした取り組みです。

8月4日(日)に、「第6回柳田國男検定」を実施しました。今回の受験者は計44名で、合格者は計21名でした。今年も上級最高得点者には、「遠野への旅」を贈りました。柳田國男検定は来年度も実施を予定しています。みなさん奮ってご参加ください。

最高得点賞の皆さんと教育長との記念撮影



### 第7回ふるさと賞

福崎町柳田國男ふるさと賞は、福崎町内の小中学生が地域の歴史や文化を調べた作品の中から選ばれます。

本年度の福崎町柳田國男ふるさと賞は、以下の3名が受賞しました。

- 小学校低学年の部 田原小学校 4年 長澤菜里奏さん
- 小学校高学年の部 八千種小学校 5年 内藤 のこさん
- 中学校の部 福崎西中学校 1年 岡本 琉那さん

優秀作品76点は、12月8日(日)まで「子どもふるさと展」で展示しました。

たくさんのご応募ありがとうございました。 受賞作品は記念館ホームページで公開します。



### 日本民俗学会研究奨励賞

福崎町では、日本民俗学会の研究奨励賞に副賞を贈っています。

この賞は35歳未満の次世代の民俗学を担う若手研究者へ授与されるものです。

本年度は、国立療養所菊池恵楓園社会交流館学芸員の原田寿真さん(右)の「縁を結ぶ人々ー国立ハンセン病療養所菊池恵楓園の重い慣行からー」が受賞されました。表彰式は10月13日(日)に行われ、高寄教育長が表彰を行いました。本年度は筑波大学で開催されました。



### 松岡映丘画稿展

松岡映丘は、史実や実体の研究に基づいた秀作を数多く残しています。画題となる時代の習俗を自ら研究し、より写実的なやまと絵の制作に情熱を傾けました。

映丘の作品は画稿(下絵)と本画に分かれます。画稿を描いて構図を練り、彩色し完成させたものを本画と呼びます。

記念館には現在、1,100点あまりの松岡映丘画稿が収蔵されています。記念館ではこれらを修復し、展示・保存がしやすいように軸や額に仕立てています。本年度は、春季・秋季の2回に分けて画稿展を開催しました。



「志賀の浦波」(部分)

### 春季(4/6~5/26)

春季企画展では、「映丘がいざなう旅の風景」と題し、前年度に補修を終えた作品の中から、「東下り」や「志賀の浦波」など、旅を題材とした画稿を紹介しました。



「高野の維盛」

### 秋季(10/5~12/1)

秋季企画展では、「やまと絵でみる平家物語の世界」と題し、松岡映丘がやまと絵式で描いた作品から、「高野の維盛」「朝日將軍」をはじめとする、武者絵をこよなく愛した映丘の作品らしい『平家物語』を題材とした作品を紹介しました。

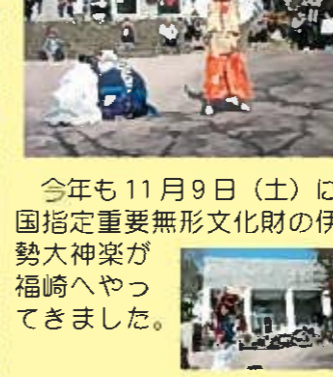
### 秋季展パンフレット販売中!!

秋季企画展の展示作品と画題の解説を収録したパンフレットを作成しました。記念館窓口でお買い求めいただけます。



A4サイズ6ページ 1冊100円

### 伊勢大神楽公演



今年も11月9日(土)に、国指定重要無形文化財の伊勢大神楽が福崎へやってきました。

### 岩田先生の版画教室

12月8日(日)に版画教室を行いました。版画家の岩田健三郎さんに、年賀状作りをご指導いただきました。

